

北上市総合計画 2021～2030 令和7年度基本施策事後評価シート（評価対象期間：令和6年度）

基本方針	1.未来に輝く人づくり
基本施策	1-2.子どもの健やかな成長を守る環境づくり
関連するプロジェクト	1.子育て寄り添いプロジェクト

将来の社会の主役となる子どもたちが安心して成長できるよう、市全体で子どもの最善の利益の実現に努め、関係機関と一層の連携を図り、家庭と子ども一人ひとりに最適な支援を継続的にいきます。

評価項目	A	順調
	B	概ね順調
	C	やや遅れている
	D	遅れている

総合評価	A
------	---

R6事後	2
------	---

※達成状況評価欄の（ ）内については昨年度の評価結果です。

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象：R6)	達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
							市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
1	健康こども部	●	子育て世代包括支援事業	①	<p>妊娠期から子育て期まで切れ目なく支援する母子保健機能と子ども虐待の発生防止・早期発見等を行う児童福祉機能を一体的に運営していく「こども家庭センター」を拠点として、様々な事情を抱える妊産婦・乳幼児等の状況を継続的・包括的に把握し、保健師等の専門職が妊産婦や保護者の相談に対応するとともに、支援プランを策定し関係機関との情報共有や検討を行い適切な支援につなぐ。</p> <p>保健師等の母子健康手帳交付時の面接、要支援妊婦の訪問指導をはじめ、新生児訪問・乳幼児訪問を通し安心して育児していけるよう伴走型の支援を行う。関係機関との一貫性・整合性のある支援につなげるため、連携体制を強化する。</p>	A	指標に関する内容	<p>出産後は全産婦へ電話確認を行い、訪問指導を行っている。</p>	指標に関する内容	◇継続して事業を実施。	
					(A)	指標以外の内容	<p>妊産婦リスクアセスメントシートを活用し、支援プランが必要となる対象者を判断し、必要な人への支援がもれなくできる体制をつくっている。</p>	指標以外の内容			
2	健康こども部		支援を必要とする子どもや家庭への支援の充実	②⑦	<p>新規利用者については事業利用の必要性を精査しながら、児童の状況に応じた支援計画を立て、個々に応じた療育を提供する。</p> <p>療育専門員と連携してアドバイスを得たり、職員が研修に参加したりするなど専門性の向上に努める。</p> <p>障がい児の支援に対応するため、幼稚園や保育所等における人員体制及び保育者への研修の充実を図り、小学校へのスムーズな移行ができるよう支援が必要な子どもたちの発達を促す。</p>	A	指標に関する内容	<p>②施設内外の研修機会を確保し、療育の質の向上を図った。</p> <p>⑦早期に療育を開始できるよう、北上市こども療育ネットワークにより事業所選択及び見学予約を行い利用者の利便性向上を図った。</p>	指標に関する内容	◇定期的に研修機会を確保し、資質向上に努めていく。 ◇中核的役割を果たすよう機能強化を図っていく。	
					(A)	指標以外の内容		指標以外の内容			
3	福祉部		生活に困窮している子どもへの学習支援の充実	⑧	<p>子どもの学習支援事業の参加者数は、R4年度より300人程度で推移しており、期待値も上回っている。</p>	B	指標に関する内容	<p>子どもの学習支援事業を続けていく中で、徐々に生活に困窮している世帯に認知されていること、及び、市内の学校に周知用チラシを配布していることで参加者数の増に繋がっていると考えられる。</p>	指標に関する内容	◇継続して事業を実施	
					(B)	指標以外の内容	<p>相談支援に関わる知識・技術、教育に関する知識・技術、社会保障制度等に関わる知識等を有する学習支援相談員を配置し実施している。</p>	指標以外の内容			

No.	担当部等	プロジェクト	推進方針(R6)	成果指標	推進方針に対する達成状況(対象:R6)		達成状況評価	達成状況に至る要因の分析				今後の方向性(達成状況及び要因分析から導かれること) (◇:R7/◆:R8以降)
					指標に基づく事実	指標以外の事実		市の活動による影響(内部要因)		社会環境の変化等による影響(外部要因)		
4	健康こども部		「子どもの居場所づくり」に対する支援の充実	③ 「子どもの居場所づくり」を行っている団体からの意見や運営に係る収支状況を把握しながら、今後どのような支援が必要か検討する。	指標に基づく事実 子どもの居場所づくりに取組む「子ども食堂」の開催場所数は、1増となり期待値のとおりとなっている。	A	指標に関する内容 当市の事業を利用して開設した団体が活動を続けているため、収支状況の確認を行い、必要に応じて助言を行った。また、希望する団体については広報による周知、会場の確保を行っている。	指標に関する内容			◇今後も団体からの意見や運営状況の把握に努め、活動の支援を行う。	
					指標以外の事実 フードパントリー、学習支援など工夫した取り組みを実践している団体もある。	(A)	指標以外の内容	指標以外の内容 企業からの寄附、住民からの食材提供等により、各団体は安定した運営ができています。				
5	健康こども部	●	児童虐待の発生防止、早期発見・対応	子どもやその家庭の支援及び家庭児童相談機能を充実させるために、こども家庭センターを設置し、支援体制の強化を図るほか、児童相談所、警察、保健医療機関等関係機関の更なる連携強化により児童虐待の発生防止、早期発見と適切な対応に取り組む。	④ すべての児童虐待の通告において死亡事案に至ることなく対応しており、虐待通告から児童の安全確認までの所要時間48時間以内に100%対応できている(R6年度新規受理:62件 内虐待38件、養護その他24件)	A	指標に関する内容 勤務時間内外に関わらず、すべての児童虐待の通告に対して市が定める「虐待通告受理からの対応フロー図」に基づき組織的に対応を協議し、通告受理から48時間以内の安全確認を継続して実施。重篤事案については岩手県福祉総合相談センター(児童相談所)や警察と連携して対応した。	指標に関する内容			◆北上市こども計画に基づき、子育てに困難を抱える世帯への訪問支援について、事業の実施開拓について研究し、適切な支援に努める。	
					指標以外の事実 市内保育施設、小中学校の保護者向けに児童虐待予防に関する周知を行い、通告義務があることや、通告受理後の市の具体的な対応など保護者が知る機会となった。	(A)	指標以外の内容 広範囲に周知を図るため市内保育施設、小中学校から保護者向けにチラシを配布(マチコミメールを活用)した。	指標以外の内容				
6	健康こども部		子どもの貧困対策の推進	進路や教育の希望が叶えられる環境の整備、相談体制の充実、経済的支援の充実、保護者の就労の支援など、子どもの貧困対策に関する具体的施策の推進を図るほか、子どもの権利を保障する方策について検討する。	⑤ R6年度に実施した子どもの生活実態調査から算出した貧困率は、6.3%となり期待値を達成した。	A	指標に関する内容 児童手当や物価高騰対応低所得世帯給付金等の経済的支援を実施した。	指標に関する内容	賃金の上昇や雇用環境の改善がみられた。		◇引き続き、こども家庭センターが子育てに関する相談窓口として支援を実施する。 ◇こどもの権利の保障については、こども計画の中で重点施策として位置付け、具体的な事業を検討していく。	
					指標以外の事実 貧困を含めた子育てに関する相談窓口として、こども家庭センター対応しており、庁内外と連携し貧困の解消を含めた課題解決策を相談者に提案している。	(B)	指標以外の内容 こども家庭センターにおいて統括支援員が中心となり、児童家庭係と親子保健係の両面から相談支援を実施することで、相談支援体制の充実を図っている。	指標以外の内容				
7	健康こども部		ひとり親家庭等への自立支援の推進	ひとり親家庭等に対する相談体制の充実を図るとともに、「児童扶養手当」「ひとり親家庭医療費給付」など経済的支援を実施する。また、生活の安定と自立を支援するため、父・母の就職や資格取得を促進するための給付金を支給する。	⑥ ひとり親の就労や資格取得を促進するため、高等職業訓練給付金を支給した。一部の受給者は年度内に修業課程は修了せず資格取得には至っていないが、修業課程は継続中である。	B	指標に関する内容 児童扶養手当の現況届のタイミングに合わせて、県の自立支援員による相談対応、ハローワークの就業相談の窓口を開設し、ひとり親家庭が相談しやすい環境を整備した。	指標に関する内容			◇児童扶養手当、ひとり親家庭医療費給付、高等職業訓練促進給付金の支給等を継続して行う。 ◇ひとり親に対する相談支援の充実にあたり、あるべき姿を検討するため、他市の事例を研究する。	
					指標以外の事実 ひとり親に対し、児童扶養手当、ひとり親家庭利用費給付などを実施し、経済的負担の軽減を図った。	(B)	指標以外の内容 各種事業については、滞りなく実施し、ひとり親家庭を支援している。	指標以外の内容				

